

流行性角結膜炎にご注意！

流行性角結膜炎とは？

流行性角結膜炎は、感染力が強く、昔から一般に「はやり目」と呼ばれていました。8月を中心に流行しますが、病原体であるアデノウイルスは1年中活動しており注意が必要です。

患者は1～5歳を中心とする小児が多いですが、成人を含め幅広い年齢層での発生が見られます。

【感染経路】

感染した人が目を触った手やその手が触れた手すり、ドアノブ、使用したタオル、洗面用具等を介し、感染が広がる**接触感染**です。

【症状など】

潜伏期間は8～14日でその後、急に発症します。

症状は、眼瞼(まぶた)の腫れ、充血、目やに、涙がたくさん流れる、眼の痛み、ゴロツキ感など。

耳の前に存在するリンパ節の腫れ、圧痛を伴うこともあります。
症状がある場合は、すぐに眼科を受診し、治療を受けましょう。



生活上の注意、予防のポイント

- 手で目をこすらないようにしましょう
- 点眼前後には手洗いをし、点眼時は容器にまつげが触れないようにしましょう。
- 手洗い、手指アルコール消毒を行いましょう。
- よく触れるドアノブ、おもちゃ等は、こまめに消毒用アルコールや次亜塩酸ナトリウム(0.02%)で拭き取り消毒をしましょう。
- タオル、洗面用具等の共有は控え、ペーパータオルを使いましょう。
- 目やにや涙はティッシュペーパーなどで拭き取り、ビニール袋に入れて処分しましょう。
- お風呂、シャワーなどを使う場合、順番を最後にしましょう。
- 感染力があうちは、他人(特に乳幼児)との接触は控えましょう。